

服装の選択制 第1回検討委員会

■日時 5月28日(水) 17時30分～18時40分

■場所 杜の里小学校校長室

■参加 保護者2名 有識者1名 教職員4名(校長、教頭、教務主任、生徒指導主事)

■協議内容(記録の概要) 司会進行:教頭

教頭 会の目的は本格実施に向けて円滑に導入することである。

保護者 導入は決定でよいか確認したい。

校長 そのつもりである。

保護者 令和8年度新生に説明する必要があると思うが・・・。

教頭 10月の就学時健康診断・保護者説明会において説明する。

保護者 式典では制服を着用することになると私服と制服のどちらも用意することになる。保護者は不安を抱える。費用面でも心配である。

教頭 選択制であるから、完全に私服ではない。(資料にあるように)儀式は標準服またはそれに準ずる服装をお願いしますと記載している。

保護者 私は校長の考えに共感できる。自分は制服で過ごしてきた。これが当たり前と受け止めていた。時代の流れや、近年の暑さのことからか、この内容が学校発であることが保護者としてうれしいと思った。選択できるという点は残していきたい。

有識者 私の故郷では外国人が多く宗教的な服装の人もいた。自分の中の当たり前は必ずしも正解はないと考えている。その当たり前であることを考えるきっかけになれば教育的な意義がある。他者の服装について考えるよい機会となる。

教職員 「それ違う」ではなく自分が考えるきっかけになるということ。

教職員 我々がこれまで信じてきたフォーマルの概念が抜けていくことが心配でもある。自由にすれば様々になる。日本の文化としてどこかでその指導を必要であると感じている。教育に携わる者としてそうすべきである(良い悪いはわからないところであるが)。

導入の理由に主体性があるが、何でも選択させることが主体性であるという点には納得できていない。

教頭 儀式にふさわしい服装かどうかだけでなく、歴史や文化の背景まで子どもに伝える場も必要であるかと。

保護者 主体性を服装の選択につなげるのは違うのではないかと思う。ただ、多様性への対応の点では理解できる。時代の流れ、他国理解で多様性を大切にするのは理解できる。しかし、資料にある「望まない姿」がむずかしいのではないか。服装の選択制において、制服が必要かという問題がある。子どもは私服を選ぶと思う。その場合、買った制服がもったいないと思う。この先3年から4年を

見据える必要がある。制服は規律を維持する効果もある。何を着させるかを考えるのは家庭である。朝、(そのことで)子どもとのやりとりをするのは親としては大変だと思う。私服の学校の様子はいかがか。

教職員 (私服の小学校の保護者として) 特に問題はない。
卒業式は私服ではあるが儀式に合った服装になっている。他の私服の小学校では女子は袴を着る子もいるようだが・・・。

校長 袴のレンタルでは保護者の費用負担問題の話聞いたことがある。都会では袴姿の卒業式が主流との話も。

保護者 SNSの影響で服装の流行もあるようだ。髪型を美容室で整えることも。

教職員 他地域では中学校の制服を着て卒業式に参加する人もいるようだ。

教頭 儀式の服装が落ちつくまでにはあと数年の時間的経過を見る必要があるようですね。

有識者 服装だけが儀式の雰囲気を決めるものではない。そして、経済的な面も考えていかなければならない。また、どのような服装が適正かを理解するまでには、極端な場合の事例の経験が生かされることがある。例えば、カリフォルニア州では性的なものや暴力を連想させるようなものは適さないと明確に禁止している。このような議論には、親や大人が乗り越えていくべき思い込みや偏見といった壁が存在しているものである。実際、学校は特定の服の購入と着用を強制する法的権限を持ってはいない。学校ができるのは「推奨」である。

教職員 儀式に参加する経験を通じて身につく力もある。服装だけがその要素ではない。日本と外国では儀式ではその様子が全く違う。

有識者 過去の歴史文化の影響が大きい面もある。

教職員 杜の里小は選択制、私服の小学校とは違う。みんなが私服に変わっていくとは思わない。

保護者 (2月の試行期間) うちの子どもは制服を選んだ。それは自分で決めた。

保護者 うちの子はその期間は制服を選んだ。面倒だからと言っていた。みんな私服を選ばないこともある。当時の話では、男子は半分くらいが制服だったようだ。

校長 資料に検証のデータがあるので参考にしてほしい。

季節や時期によっても実態が変わる。寒暖の感じ方も個人で大きく違う。肌の露出に抵抗を感じている子も存在していた。夏だから半袖というわけではない場合もある。

本日は貴重な意見をありがとうございます。次回の検討会では子どもを参加させて、意見を直接聞いてみたいとも考えている。検討していきたい。